



宇津木台 森遊会 「定例活動」

第5回 実施報告

No.2011-05

実施日	2011年10月16日(日曜日) 10:00~16:00	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 6名(男性4、女性2) 後藤、衣川、諸岡、中田(直)、中田(美)、野崎 インストラクター: 金森		

実施内容

初年度全10回活動の第5回目。オリンパス技術開発センター宇津木従業員玄関に10時に集合。初参加の野崎さんのみ9:30集合で30分間持ち物などのオリエンテーションを行う。前日の風雨はおさまったが、気温が上がったため汗をかきながらの除伐作業となった。蚊取り線香はまだ必要。

予め除伐しておいた見本のエリアを参考に作業を開始する。見本エリアを準備したのは、もっと思い切って伐ってよいと感じていたため。植栽の垣根は時間不足のため今回は整備しないこととした。途中休憩を2回はさみながら2時間の作業ですっかり明るくなった。テニスコートが見えるようになった。

伐った枝葉の運搬に手間がかかるので万能袋を用意した。今回は整備が終わった斜面下側を左右に避けての運搬となったが、今後は上下平行に一齐に作業すれば直線的に運搬でき効率が良いと思う。

昼食に、各自で持ち寄った具材を混ぜてダッチオーブンでトン汁を作る。また、ドラム缶を半分に切った囲いで焚火をして秋刀魚を焼く、どちらも絶品で秋の贅沢な昼食となった。塩焼き秋刀魚の皿は緑地内の竹林から間伐した竹を割って、使用後は焼却した。直火を避けるためドラム缶を使用した。使用後は常設せず持ち帰った。火の始末は当然のことながらきちんとした。

昼食後、緑地内を一周して次回クリスマスリースづくり用の素材を拾う、台風で折れたコナラが目立つ、整備がされていないため、植生が貧弱で残念ながら色とりどりの素材は集まらなかった。



除伐前、20年間放置された



→ 2時間後見違えるほどすっきり



お疲れさまでした



持ち寄った具材でトン汁



着火に手間取るも塩焼き開始



竹を利用した皿



台風で折れたコナラ



リースの素材が集まる

連絡事項

- ・怪我、ヒヤリハットはなし。
- ・緑地のゴミを入れたボランティア袋は、大1・小3を宇津木台行きバス通りに面した入口に置く。
- ・次回は珈琲豆を自分で焙煎して飲んでみたいという希望があったので準備する。